



YC-10XII

# 薬剤による汚損のない、 二酸化炭素消火器。

精密機械・機器、電気関係施設の  
消火に最適。

## ヤマト® 二酸化炭素消火器

業務用 × 蓄圧式

国家検定合格品

特許登録番号(ヤマトプロテック製 消火器):  
3277441・3282063

消火後、薬剤による汚損がなく  
精密機器も安心です。

二酸化炭素消火薬剤は  
細部に入り込み、小さな火も  
逃さず確実に消火。



YC-5XII

YC-7XII

YC-15XII



YC-50X

### 新規格対応品

#### 消火器の安全に関する表示を充実

近年発生した老朽化消火器の破裂事故にかんがみ、消火器の標準的な使用期限や廃棄時の連絡先、ISO給表示等、安全上の注意事項等について表示を義務付ける「消火器の技術上の規格を定める省令の一部を改正する省令」(平成22年総務省令第111号(2011年1月1日施行))に対応しています。

#### 適応火災表示マーク

二酸化炭素消火器は下記の火災に適応します。



【油火災用】  
B火災  
黄色円の  
マーク



【電気火災用】  
C火災  
青色円の  
マーク

#### さらに安全・高品質

##### 封ロックを採用

安全栓が抜けたことがひと目でわかる「封ロック」

を採用。封ロック

正常な状態(左)と安全栓が一度抜かれた状態(右)。封ロックが取れ、正常でないことが一目瞭然。



#### 環境問題に対応

安全栓の  
マテリアルリサイクル  
プラスチックとSUS部の  
分離が容易になりマテリアルリサイクルが可能。



#### 廃消火器リサイクルシステムにご協力ください。

2010年より始まった廃消火器リサイクルシステムにより、使用中の消火器を廃棄する場合、リサイクルシールの購入と貼付が必要です。システム開始後に製造した消火器は、リサイクルシール付で販売しています。使用期限を迎えた消火器を安全に回収して部品等をリサイクルするため、老朽化消火器による事故防止のためにもご協力をお願いいたします。



YC-5XII 税込価格33,600円  
5型 2.4kg 本体価格32,000円

YC-7XII 税込価格39,900円  
7型 3.2kg 本体価格38,000円

YC-10XII 税込価格43,575円  
10型 4.6kg 本体価格41,500円

YC-15XII 税込価格49,875円  
15型 6.8kg 本体価格47,500円

YC-50X 税込価格283,500円  
50型 23kg 本体価格270,000円

■詳細な取扱説明書をダウンロード出来ます。http://www.yamatoprotec.co.jp/product\_matrix/

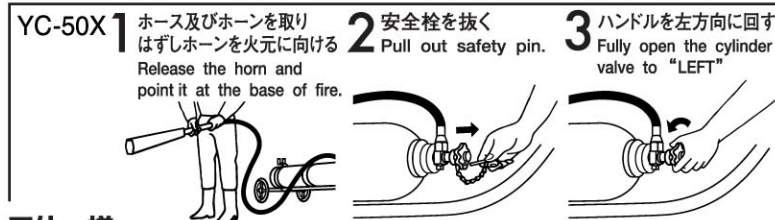


# 二酸化炭素消火器

## YC-5XII・7XII・10XII・15XII・50X

国家検定合格品

■使用方法 ※消火器は圧力容器です。取扱説明書をよく読んでご使用ください。



### 仕様

	YC-5XII	YC-7XII	YC-10XII	YC-15XII	YC-50X
総質量	約8.5kg	約10.3kg	約14.3kg	約20.4kg	約100kg
薬剤質量	CO <sub>2</sub> 2.4kg	CO <sub>2</sub> 3.2kg	CO <sub>2</sub> 4.6kg	CO <sub>2</sub> 6.8kg	CO <sub>2</sub> 23kg
全高	約47.7cm	約56.4cm	約73.4cm(ホース部を除く)	約77.3cm(ホース部を除く)	約97cm
全幅	約19.7cm	約19.7cm	約25.0cm	約26.5cm	約50cm
放射時間(20℃)	約14秒	約19秒	約21秒	約30秒	約40秒
放射距離(20℃)	2~4m	2~4m	2~5m	2~5m	2~5m
能力単位	B-1・C	B-2・C	B-3・C	B-4・C	B-6・C
使用温度範囲	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃
税込価格(本体価格)	33,600円(32,000円)	39,900円(38,000円)	43,575円(41,500円)	49,875円(47,500円)	283,500円(270,000円)
型式番号	消第23~426号	消第23~427号	消第23~437号	消第23~438号	消第23~334号

※商品を購入する際には、税込価格のほかに別途リサイクルシール代(非課税)が必要となります。



### ●二酸化炭素消火器の使用に際し、下記の事項にご注意ください。

1. 消火器の適応火災を確認してください。
2. 消火器の放射時間に注意してください。(おもむね14秒~40秒です)
3. 消火器は、初期消火に用いることを認識してください。
4. 設置基準に応じた使用を守ってください。(消防法施行令第10条)
5. 必ず退路を確保して使用してください。
6. 二酸化炭素消火薬剤は再燃防止効果がありません。(完全消火しないと再燃着火して危険です)
7. 燃焼物に近づきすぎないでください。
8. 燃焼物の形状等を確認し、死角がないか注意して使用してください。(死角があると残り火が再着火する恐れがあります。もし危険がないなら火点に応じいろんな角度から消火するとより有効です)
9. 風上から消火するのが適当です。(煙や熱の影響を受けにくく放射もしやすい安全も確保できます)
10. 消火器は直立させて使用してください。(横倒しや逆さまで使用できません。車載式を除く)
11. 日頃から訓練し、消火器使用時の感覚などに慣れてください。(消火器は、使用者の慣れ・不慣れで大きく効力に差が出ます)
12. 二酸化炭素消火器を使用する場合は、酸欠・二酸化炭素中毒への十分な注意が必要です。空気呼吸器を備え、装着した上で使用するなど注意してください。

消火器は圧力容器です。  
【取扱説明書】をよく読んでご使用ください。

#### △危険

■破裂のおそれがありますので下記の項目をお守りください。■錆、傷、変形、キップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。■分解しないでください。廃棄の際は専門業者または記載されている電話番号にお問い合わせください。

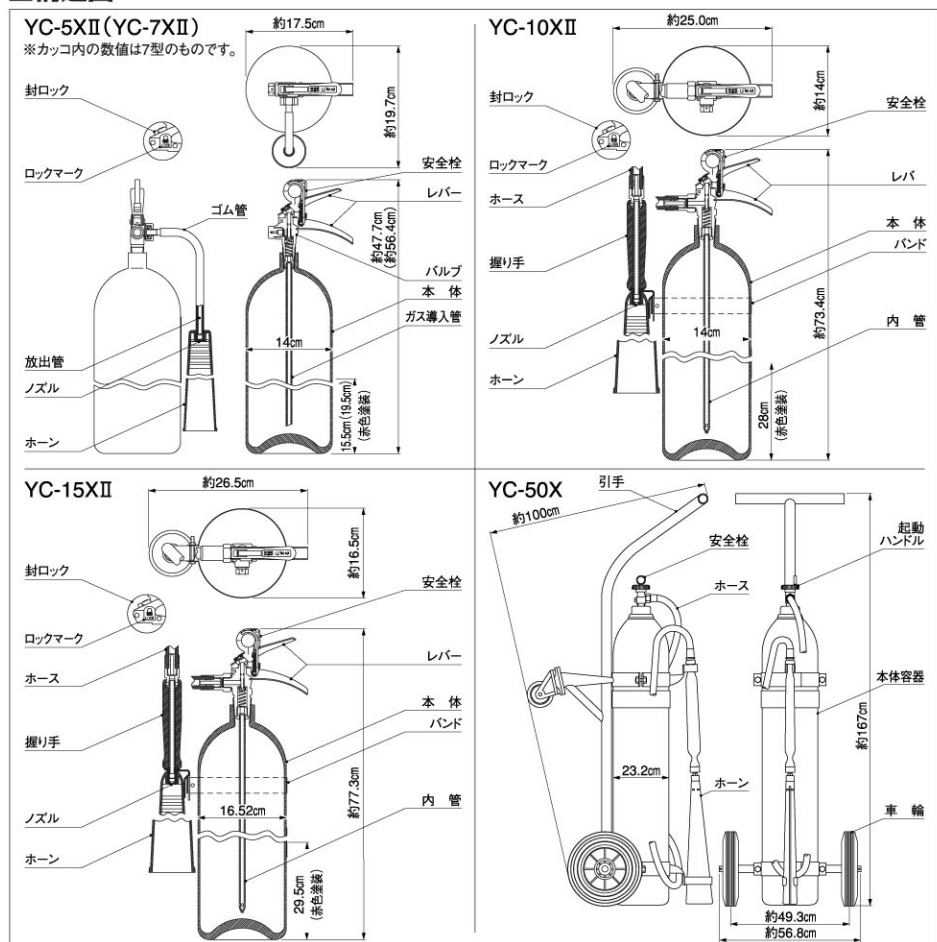
#### △警告

■破裂の原因や人身事故のおそれがありますので下記の項目をお守りください。■半年毎に法令で定められた点検を行ってください。■腐食しやすい場所、湿気の多い場所、潮風や雨風にさらされる場所に設置しないでください。■濡れた床や地面に直接置かないでください。■使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。■人に向けて消火薬剤を放射しないでください。呼吸困難等の危害を引き起こす恐れがあります。■使用時には火元から3m以上離れてから放射を開始してください。近づきすぎると火傷の恐れがあります。■避難経路を確保しながら消火してください。

#### △注意

■消火器は初期消火の器具です。消火範囲には限りがあります。■一度使ったら内圧及び薬剤が残ってもかならず詰替えてください。■詰替えは指定の代理店又は製造元にお申し出ください。■試射は絶対にしないでください。■太陽の直射、高温、多湿の場所を避けてください。■適応火災は、ラベルの表示マークと「取扱説明書」で確認してください。対象物によって適・不適があります。

### 構造図



▶消火器は目立つところに設置してください。

■消防法第17条の3の3に基づき6カ月に1回以上の点検を、消防設備士等の資格を有する人に依頼して行うようにしてください。

■1度放射されたら、ただちに消火薬剤を詰替えてください。試射放射はしないでください。

※ストップ付の消火器は、放射を一時的にストップすることができます。ただし、長時間放置していると、圧力ガスが漏れて使用できなくなりますので、一度使ったものは最後まで放射してください。使用後は、ただちに新しい消火薬剤の詰め替えを専門の業者に依頼してください。

※カタログ掲載商品は改良のため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

## ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2 ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp/>

大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・横浜・静岡・広島・四国・福岡・大阪工場・東京工場・中央研究所

※このカタログは、再生紙を使用しています。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………